

補正
予算

このように決めました

質 疑

学校教育もICT化へ

—わかりやすい授業づくりとなるか—

※ICTとはコンピューターやインターネット技術の総称で、特に公共サービスにおいて使われる用語。

当局 プロジェクター付ホワイトボード(電子黒板)2台、タブレット端末8台をセットで蚕桑・鮎貝小で先行導入。他の2小学校は、次年度にも対応したい。

委員 ICT教育環境整備事業の具体的な内容は。

今年度は蚕桑小・鮎貝小に導入



当局 要因としては、集水区域からの大量の雨水による沢の洗掘で

委員 唐松沢や黒鴨荒山線など2年連続の河川復旧工事であるが、根本的な要因の調査と対応は。

再被災の要因は

災害復旧費



また大雨が来たら...

あるが、補助事業での災害復旧は原形復旧が原則。原因対応までいかない現況である。

一般会計補正の主なもの

森林再生基金積立(元金)	1000万円
木材の活用と再造林を支援し、白鷹町の美しい森林の再生に資するため、「森林再生基金」として積み立てるもの	
企業立地促進事業	1000万円
申請の増加見込みに基づく追加計上	
町道維持補修費	1730万円
安全対策のため、路面等維持補修工事の追加計上	
都市計画道路整備工事	730万円
荒砥駅館の内線の維持補修	
ICT教育環境整備推進事業	530万円
学校現場でわかりやすい授業づくりの推進に向け、タブレット端末やプロジェクター付ホワイトボード等を小学校に導入するもの	
災害復旧費	1570万円
過年度の豪雨等により被害を受けた林道、河川などについて工事請負費の追加計上	

6月27日臨時議会にて補正

産地パワーアップ事業	549万円
農作物産地の高収益化に向けた取り組みを総合的に支援するもの	
建築需要促進事業	500万円
事業の需要が見込まれるため、事業効果を考慮しての追加対応	

◎財源は国・県支出金、繰越金、町債などで対応します。

平成28年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	1億398万円	77億6098万円
特別会計		
国民健康保険	72万円	18億5071万円

※万円未満は端数を調整しています。